



令和7年度
あゆみ保育園

9月給食だより

園長 江郷 勝哉
給食 野口 奈々

9月の予定

1日(月) 防災引き渡し訓練

「防災の日」です。この日の給食は、
園で備蓄している非常食を提供します。

10日(水) お誕生日会

幼児クラスの誕生日児のご家族を招待して
園の給食を提供します。

24日(水) 魚の解体

ぶり一匹を解体してもらい、
体の様子やしくみを観察します。
また、命を頂く感謝の気持ちを育みたい
と思います。

9月1日は「防災の日」

1923年9月1日に関東大震災が起きました。大きな地震で多くの方がけがをし、家が壊れました。この経験から、災害に備える大切さを忘れないように「防災の日」ができました。

9月は台風も多い季節です。地震だけでなく、風や雨の災害にも気をつける時期です。



★「防災」に込められた意味

防災とは、災害から命を守ることです。地震や台風、大雨などは突然起こるので、日ごろの準備が大切です。

防災には、命を守ること、助け合うこと、食べ物や水を備えること、落ち着いて行動することなどの意味があります。



★食における備え「備蓄食品」

1. 非常食

災害時の備えとして用意し、主に災害時に使用するもの

例: アルファ米、長期保存可能なパン、水、乾パン等

2. 日常食品

日常から使用し、かつ、災害時にも使用するもの

※「ローリングストック」とも呼ばれています。

例: 缶詰(肉・魚・豆・果物・野菜)、乾物、野菜ジュース等

今月の食育

○ぶりの体のしくみや、
命を頂く大切さについて知る
○非常食について知る



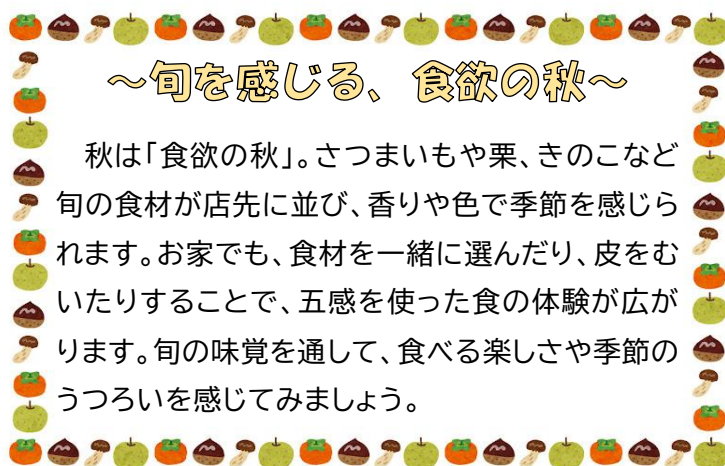
【命をいただくことの大切さ】

昨年度に引き続き、保育園に園長先生のお友達が来てくださり、大きなブリの解体を見せてくれます。目の前で動かない魚が切り分けられていく様子に、子どもたちは驚きや不思議な気持ちを抱くことでしよう。

この体験は、「食べる」という行為の裏側にある命の存在を感じる貴重な機会です。普段は切り身になった魚しか見ない子どもたちにとって、「魚が生きていた」という実感は、食べ物への感謝の気持ちを育てる第一歩になります。

解体されたブリは、給食で美味しく調理され、みんないただきます。「さっき見たお魚が、こんなに美味しいんだ!」という驚きとともに、命をいただくことの意味を感じる瞬間です。

「いただきます」は、命への感謝の言葉。魚だけでなく、野菜やお米にも命があります。すべての食べ物に「ありがとう」の気持ちを込めて、食事を楽しんでほしいと思います。



～旬を感じる、食欲の秋～

秋は「食欲の秋」。さつまいもや栗、きのこなど旬の食材が店先に並び、香りや色で季節を感じられます。お家でも、食材を一緒に選んだり、皮をむいたりすることで、五感を使った食の体験が広がります。旬の味覚を通して、食べる楽しさや季節のうつろいを感じてみましょう。

【I Cのメニュー変更】

10日(水) 五目おこわ→五目ごはん(精白米)

11日(木) 豚汁→こんにゃく抜き

17日(水) 白和え→こんにゃく抜き

18日(木) 中華麺の野菜あんかけ→かまぼこ抜き

19日(金) 山菜の炊き込みご飯→ごはん

25日(木) 手打ちきつねうどん→乾麺

おたよりを紙媒体で欲しいかたは、事務所までお越しください